

# 日本最古の銅山探検（美祿市）

## 奈良の大仏の銅を献上した長登銅山

長登には「奈良の大仏の銅を献上したので、奈良上りがなまって長登（ながのぼり）になった。」という地名伝説が伝えられていましたが、古文書に長登銅山を示す資料は全く見当たらず、信憑性のない伝説とされてきました。ところが、昭和47年9月美東町史編纂の調査で、長登字大切の山中から数編の須恵器が採集され、長登銅山跡が古代に遡る日本最古の銅山であることが判明。また、化学分析の結果、奈良の大仏創建時の材銅は長登銅山産であったことが明らかとなり、伝説が実証されました。

### 見学

### 長登銅山文化交流館



日本の銅・古代の銅山に関する品が多数展示されており、長登銅山跡の全てを理解することが出来ます。また、銅を材料とした古代銭貨や顔料「緑青」の製造方法や解説などもあり、現代の銅が果たす役割を紹介しています。古代の実物の木簡が展示されているのはここだけの特徴。映像放映。

入館料：大人300円 小中学生150円  
 開館時間/9:00～17:00  
 休館日/月曜日、年末年始  
 TEL : 08396-2-0055

### 探検

### ① 古代長登銅山跡探検

※①は、ガイド付きの場合のみ入坑できます。

**健脚向き**（ロングコース 片道約1km 所要時間：往復約100分）

滝ノ下・大切山には、狸穴様の坑口が30箇所くらいあるが、いずれも坑内が複雑に繋がっていて山全体が蜂の巣状になっています。大切4号坑のみ坑口の見学が可能です。

長登銅山文化交流館

大切製錬遺跡

千人間歩跡

大切竪坑跡

大切4号坑

長登銅山文化交流館

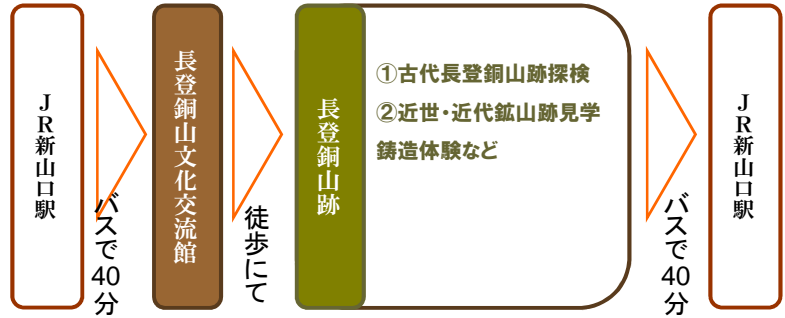
大切4号坑



大切谷には、広さ5haにわたって銅の精錬カス（からみ）が堆積していて、8世紀初頭から200年以上に渡って国の採銅所として機能していたことを物語っています。この付近一帯の地下には多くの銅・鉛の製錬炉や選鉱場、役所の建物や工人達の住居跡などが埋もれていると推定されています。

### 埋もれた地下の正倉庫

大量に出土した木簡や墨書土器の文字史料から、長登銅山跡が国直轄の採鉱・製錬官衙であったことが明らかとなりました。まだまだ多数の木簡が地下深く埋蔵されており、貴重な古代の文字資料が眠っているといえます。



### 体験

### 鑄造体験（要事前予約）



メダルの鑄型を彫刻し、鑄造・研磨を体験。

体験材料代：500円程度

TEL : 08396-2-0055

### 探検

### ② 近世・近代鉱山跡見学

**一般向き**（ショートコース 1周800m 所要時間：約30分）

年間2300t余りの製錬を行い、大正8年に廃業。坑口の間歩跡やカラミレンガ造りの煙道、製錬所跡、カラミ捨場、千人仏碑等が残り、近代鉱業遺跡をコンパクトに見ることができます。

### 花の山精錬所跡

長登銅山文化交流館

花の山精錬所跡

千人仏碑

精錬所煙道跡

山神坑口気穴

山神社

長登銅山文化交流館



山神社



### 坑口 四つ留口



落盤を防ぐための木留で、組み立て作業は、鉱山の盛衰がかかる大切な行事でした。坑口の上には化粧木が置かれ、鉱山事務所からは、酒や肴が出て、坑夫全員で祝ったようです。

### ガイド

①②コースは、事前に申し込みがあれば長登銅山文化交流館の職員・ボランティアがガイドを行います。（ガイド料 1回2,000円）

※ 掲載情報は、平成23年2月時点です。